

8月号では、図書室に勤務している山本歩美さんと村田瑠美さん取材し、図書室での仕事内容や苦勞、本1冊1冊に込める想いを話してくださいました。



▲左：山本歩美さん、右：村田瑠美さん

問1 図書室職員になろう
と思ったきっかけは？

（山本さん）

子どもの頃から本が好きで、図書室にもよく通ってました。本に関わる仕事をしたいという気持ちはずっとありました。以前にも図書館で仕事をしていて、貸出だけではなく裏側で様々な地道な作業があることを知り、ますます図書館の仕事が好きになりました。

（村田さん）

もともと自分自身は本をあまり読まない方でしたが、子どもたちには本を好きな子になってほしいという想いから図書室へ通うようになりました。一緒に絵本を選んだり読んであげているうちに本や図書室の雰囲気が好きになり、図書室の仕事にも興味を持ちました。

問2 図書室の仕事内容を
教えてください。

本の収集、保存、整理を基本に行い、そのうえで貸出などをしています。

学校と協力してブックフェスティバルを開催したり、2ヶ月毎にブックフェアを変えたり、本に親しんでもらえるよう、図書室に通ってもらえるようその都度イベントや講座も考えていますね。8月には「ぬいぐるみおとまりかい」、9月には「手作り絵本講座」を予定しています。



▲ブックフェスティバルの様子